

平成30年度山口県産業労働懇話会の概要について

1 開催日時

平成30年11月12日（月）13：30～15：00

2 開催場所

県庁共用第5会議室

3 出席者

労働者代表 山本委員、藤田委員、倉重委員、田中委員、石田委員
使用者代表 畑委員、梅林委員、福嶋委員、寺田委員、橋本委員
学識経験者 宮地委員、川村委員、吉村委員、松永委員
(以上15名中14名出席)

4 議事

「女性就業の促進」を論点として質疑応答及び意見交換を行った。

《主な意見等》

- ・悪質クレマーの行き過ぎたクレームにより病んでしまう人が多いので、社会の中で問題として考えていかなくてはいけない。
- ・男女の固定的役割分担については、全国的に事業展開している当事業所においては感じている。
- ・女性の働き方を理解する男性の上司が不足しているので、男性の意識改革をする必要がある。
- ・キャリア形成のアドバイスをしてくれるところが少ない。
- ・社会保険料の壁(収入130万円)により、働くことをセーブしている方がいる。
- ・女性従業員の状況(育児中等)で、出来ないと決めつけしないで、平等に業務の投げかけをしている。
- ・職場環境整備の助成金の拡充をお願いしたい。
- ・母子や介護等に係る制度を会社(経営者)が知らないことがある。
- ・妊娠出産等が、働くことの妨げにならないとのキャリア教育が必要。
- ・長時間勤務の横行が、女性のプレッシャーやハラスメントに繋がっている面があるので、働き方改革により改善されることを期待している。
- ・女子労働力率を高めることが目的なのか、働きたい女性が働けないのが問題なのか。それにより施策の展開が変わってくる。
- ・M字カーブの解消は、一律の施策でなく、色んな産別に分類し、対策を講じないと、難しいと思う。
- ・山口しごとセンター等でのカウンセリングで、出てきた話を拾い上げて分析し、今後の施策に活かして欲しい。